

令和3年度の学校評価（反省と課題）

<p>3年度の重点目標</p>	<p>①社会の動向や教育界の動きを注視、120年の歴史と伝統を発展させるとともに時代に対応した教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解コースの魅力の発信に努め、地域社会や地元中学生に一層の理解を深める。 ・地域の人的・物的資源等を活用しながら効果的な教育活動を推進する。 ・持続可能な開発目標であるSDGsの視点を踏まえた学びをより一層推進する。 ・学校図書館の活用を通して、主体的、意欲的な読書活動の充実に努める。 <p>②本校の歴史と伝統に誇りを持ち、行動力と思いやりを備えた将来社会のリーダーとなる生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の一層の充実に努め、グローバル化、情報化などの社会の変化に主体的に対応する能力を育成する。 ・学校行事、部活動やボランティア活動への積極参加を促し、統率力、協調性、粘り強さ、社会性を備えた人間力豊かな生徒を育てる。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の工夫改善に努める。 ・「新しい生活様式」が求められる中、生徒の学びを最大限保障する。 <p>③清潔で落ち着いた教育環境、安全・安心な学習支援体制を整備し、規律を守る品位・品格ある心身ともに健康な生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命尊重の理念のもと、交通安全意識と交通マナーの向上に努めるとともに、他の人々や地域の安全に貢献できる生徒を育てる。 ・教育相談の充実に努めるとともに、スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り組織的かつ迅速に適切な指導及び支援を行う。 ・日常の清掃活動を通して高い衛生・環境意識を醸成する。 ・実践的な防災・減災教育に取り組むとともに、学校や地域の防災力に貢献できる防災リーダーの育成に努める。 <p>④効率的・効果的な業務遂行の機運を醸成し、教職員の多忙化解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な業務遂行に向け、校務運営システムの活用を一層推進する。 ・学習や部活動における生徒の主体性をいかし、運営方針を遵守した部活動指導を行い、教職員の業務内容にメリハリを持たせる。 ・教職員の適切な管理等に関する方針を踏まえ、次なる時代に対応した業務の在り方と教職員の組織的な学校運営体制の確立を目指す。 		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>広報活動 （総務部）</p>	<p>学校や地域の防災力に貢献できる防災リーダー育成の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する知識や防災活動のノウハウを学んだ生徒たちに、校内における普及活動を行う場を設ける。 ・広報活動を通して、保護者への情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携高校生防災教育推進事業「高校生防災セミナー」への参加を通して学んだ知識を、文化祭等で発表することにより、全校生徒の防災意識を高め、防災を身近なものとして意識させることができた。 ・コロナ禍で保護者の来校機会が減少する中、PTA活動の情報提供を的確に行えるように努めたい。
<p>学習指導 （教務部）</p>	<p>新学習指導要領に伴う新しい教育課程の実践と指導要録等の変更についての研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会を通して各教科の内容をさらに研究する。 ・教育課程委員会で全体の調整を図る。 ・指導要録等の作成について研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に伴う教育課程の改善と教科書採択について、各教科への情報発信や調整に尽力した。 ・次年度新入生の指導要録の作成方法について、各教科への情報発信を的確に行い、スムーズな移行ができるように準備をした。
<p>読書指導 （図書部）</p>	<p>様々なメディアの情報を取捨選択する力を磨き、正しい知識を得るための図書館の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「書籍の展示」や「みこし草」を通じて、図書委員が主体的に情報発信をする。 ・読書会、ブックトーク、教養講座を通じて、一人では気づけない多様な考え方があることを示唆する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お勧め本の紹介やポップ作り、購入図書を選定など、図書委員による積極的な情報発信や活動ができた。 ・図書部主催の行事にも多くの生徒が参加し、教養講座の後には講師に質問をしたり一緒に写真を撮ったりしていた。読書会においても他者の思考を持ち帰らせることができた。今後はclassiも活用しながら更なる情報発信を行い、より多くの生徒の教養を高めることに努めたい。
<p>研修 （研修部）</p>	<p>現職研修の精査と充実 ICT機器の効果的な利用の研究 国際理解教育の推進と国際理解コースの活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他分掌と連携した現職研修を実施する。 ・教育活動の様々な場面でのICT機器活用を探る。 ・ニュージーランド語学研修等の国際交流事業の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健環境部主催の健康教育講座において、Zoomを利用したリモートでの講演を2学年対象に行った。海外等の遠隔地からの講演の可能性を見出すことができたが、通信環境等の課題が残った。 ・「国際理解コースだより」を生徒および学校見学会参加中学生に配布し、活動内容を周知することができた。
<p>生徒指導 （生徒指導部 生活担当）</p>	<p>交通事故の再発防止と、より一段高い交通安全意識の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導を強化する。 ・ヒヤリマップ（過去の事故例）を活用した通学路危険箇所マップを作成する。 ・交通安全講話等によって安全意識を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の副担任を中心に毎朝昇降口にて登校指導を実施し、交通安全やきちんとした身だしなみなどを呼びかけた。今後も早めの登校を意識させたい。 ・ホワイトボードに学校周辺の地図を張り、ヒヤリマップを生徒に作成させ、危険箇所を再認識させることができた。 ・日本損害保険協会による交通安全講話を実施し、交通事故は多少ではあるが減少させることができた。
<p>生徒指導 （いじめ対策委員会）</p>	<p>いじめの未然防止と早期発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート、相談アンケート、学期始めの担任による面接等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期始めの担任面接で、悩み事など相談に応じた。学校生活アンケートを実施し、いじめの早期発見につとめた。人権講話などで人権の大切さを説き、いじめの未然防止にも努めることができた。 ・SNSなどで問題が起きないように携帯電話の利用法について注意を促した。今後もSNSでのトラブル

			防止に努めたい。
生徒会活動 (生徒指導部 特活担当)	生徒会行事の内容 検討と生徒会活動 の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事の内容を再検討し、綿密な計画を練る。 生徒会活動をさらに活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防対策を講じた行事開催方法を検討するに留まった。 様々な規制がある中でも、生徒会役員は自主的に活動する場面が多くみられた。 何ができるのか新しい内容を模索する必要性を感じる。
進路指導 (進路指導部)	高大連携事業の拡 充と生徒の進路目 標の実現	<ul style="list-style-type: none"> 高大連携事業の定着化及び拡充を図る。 具体的かつ正確な大学に関する情報を提供する。 入試選抜に向けた助言や面接指導を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの大学見学や2年生対象のゼミ体験や模擬授業などを実施することができた。来年度も引き続き、これらの事業について行っていきたい。 生徒への情報提供に関しては、担任によって少しばらつきがあるので、学年で統一した進路指導を心がけていきたい。 状況に応じて適切に実施しているが、これからが大事な時期であるので、さらに充実させていきたい。
保健活動 教育相談 (保健環境部)	こころとからだの 健康保持増進	<ul style="list-style-type: none"> 自らががの予防につながる行動選択がとれる生徒を育成する。 性教育とがん教育の健康講座を実施する。 ストレスマネジメントを活用したセルフコントロールのできる生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスマッチが行われたことにより、怪我は昨年度よりも増加傾向にある。部活動での怪我が全体の半数を占めるため、対象を絞って指導する必要がある。 部活動代表生徒にAED講習会を実施し、緊急時に対応できるように指導した。 3年生に向けた産婦人科医による講話を通して、妊娠と避妊・多様性・性的同意について、男女ともに学んだ。また、1・2年生に向けた看護師による「がん教育」では、生涯を通して健康な生活を送るためのがんに対する正しい知識と理解を深めた。 「こころとからだのセルフチェックシート」を活用し、生徒自身が心と体の健康について振り返りを行うことでその変化に自ら気づかせ早期に対応させるとともに、担任との面談や相談活動に役立てた。 今後は、入学から3年間を見据えた学校生活へのモチベーションを育成していきたい。
1年学年会	東高生としての自 覚と、学習や部活 動、行事に積極的 に取り組む姿勢の 育成	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を確立させる。 良好な人間関係の構築を促す。 進路意識を向上させる。 学習と部活動の両立させる。 I C T機器を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒が生活習慣を確立しているが、一部欠席・遅刻が多い生徒もいる。引き続き声掛けや面談など丁寧な指導をして欠席・遅刻を減らしたい。 コロナ禍で行事が少ないながらも、どのクラスも入学当初と比べ、コミュニケーションを取り合う関係ができてきている。今後更にそのときの環境に応じた行事を行い、交流を深めさせたい。 類型選択を通じた進路指導を行い、大学進学への意識を高めた。2年次には志望学部学科についてより深く主体的に学習させていきたい。 部活動には積極的に取り組んでおり、学習との両立はできている。今後も継続させたい。 授業、行事、連絡等多方面でI C T機器を活用した。これから更に効果的な活用方法を模索していきたい。
2年学年会	規律ある高校生活 を充実 計画的な学習と学 力の定着 将来の目標を踏ま えた進路意識の向 上	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や身だしなみ、時間の厳守、スマートフォンの利用など自ら考え行動する。 行事や部活動に積極的に参加し目標をもって全力で取り組む姿勢を育む。 思考を深める適切な課題を与え家庭学習を促すとともに計画的な家庭学習を定着させる。 人生設計を適切に支援し、高い進路目標が設定できるように意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ等、規則を守れない生徒はほとんどいない。修学旅行等をみても時間に関する考え方もしっかりしている。 部活動へも積極的に参加している。ただし挨拶等、今ひとつ元気が欲しい。全体的に良い意味でもよくない意味でも大人しい。最終学年として何事にも積極的に発掘と取り組む姿勢をさらに引き出したい。 学習に関しても本当の意味でしっかりと力をつけようという気持ちが足りない。学習会の出席率は悪くないがしっかり復習をしているか疑問が残る。今後、各自の進路目標の達成に向け、自ら考えて主体的に学習に取り組めるようにさせたい。
3年学年会	進路目標達成への 弛みない努力と実 現 たくましく生きる 生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習時間調査を継続的に実施する。 面接指導、学習指導をさらに充実させる。 最高学年としての自覚の促進する。 主体的な行動を促す機会を設定する。 時期に応じた生徒への適切な声掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒が受験に向けて、職員室などに積極的に質問に来るなど主体的に学習に取り組んでいる。学習成果も徐々に表れてきているため、家庭での学習も努力していると考えられる。 コロナ禍で行事が縮小されたものもあるが、その中で声を掛け合いクラスで協力して活動できた。 進路について悩んでいる生徒と面談しアドバイスを適宜している。 受験を控えた最高学年として、最後まで努力する気持ちを維持させていく。
職員の健康保 持 (衛生委員会)	勤務時間の適正な 管理 教職員の健康障害 防止とメンタルヘル ス保持	<ul style="list-style-type: none"> 多忙化解消に向けた業務の適性化を図る。 学校開錠時間及び施錠時間を遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して解錠施錠時刻を徹底できた。 衛生委員会にて、ストレスについての研修報告を行い、メンタルヘルス意識の向上を図った。コロナ禍においては発散する機会が減少しており、お互いにストレスを抱えこまないような雰囲気を作っていきたい。